

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわ ECO だより

品川区環境情報活動センターだより

2011年度 Vol.1

ECOフェスティバル

2011

5月15日(日)、快晴で強い日差しのもと、さわやかな風が吹き、最高のECOフェスティバル日和になりました。今年もしながわ中央公園をメイン会場として‘しながわECOフェスティバル2011’が華やかに開催されました。

濱野区長の挨拶の後、資源リサイクル活動等を推進してきた25団体に対し感謝状と記念品が贈呈されました。



●ステージアトラクション

環境「ほっ」とバラエティ(お茶犬・HORI PRO)、eco実験パフォーマンス(らんま先生)、和太鼓演奏(大井権現太鼓保存会)



Love&Peace(少年少女合唱団・83運動みんなで歌おう)、ECOな音楽・吹奏楽!(品川区民吹奏楽団)、創作竹楽器演奏(東京楽竹団)など、各種アトラクションが観客の盛んな喝采を浴びていました。

●模擬店&マイ箸運動の推進

焼きそば、カルピ井や飲物などが販売され、昼食時には長蛇の列ができていました。会場では割り箸の無料配布はなく、国産間伐材・端材からできた割り箸を1膳10円で販売しました。この売り上げは東日本大震災復興の義援金とすることになっています。

●くらしを守る青空市

品川区共同購入実行員会主催による恒例の青空市です。「新鮮なもの・安全なものを即売!」ののぼりがお客さん呼び、野菜や果物が昼前に完売となりました。



●ごみ、資源回収

エコ容器、もやすごみ、びん、か、ペットボトル、陶器・ガラス・金属ごみなどが、高校生のみなさんの協力によってきれいに回収されていました。



ECOフェスティバル2011

●太陽エネルギー見本市

太陽光(熱)利用機器システム、高効率機器、住宅版エコポイント、区・都・国の補助制度それぞれの紹介や住まいの省エネ相談コーナーがあり、相談や熱心な話し合いが行われていました。ソーラークッカーなど様々な設備を多くの方が興味深そうに見ていました。



●「エコな車」乗車体験

水しか排出しない静かな次世代エコカー「燃料電池車乗車体験」がありました。燃料電池は、水の電気分解とは逆に、水素と酸素を反応させることにより電気を取り出し、その電気でモーターを回します。また「人力車乗車体験」もあり、親子が楽しそうに乗車していました。



公園会場における使用電力はすべて自家発電で賄われました。

●手作り環境工作教室：「ソーラーモンキー」

太陽光発電で動く「サル」のキットを組み立てて作りました。子どもたちは先生に作り方を聞きながら一生懸命作っていました。クリーンエネルギーである太陽光発電が体験できたことと思います。



●環境セミナーの開催：

「知ってトクするエコな住まいづくりと住まいかた」

エネルギーを節約しながら快適な生活を過ごすためのノウハウを学びました。親子連れで来られる方やメモを取られる方など、皆さん熱心に聴いていました。



品川区の「木・花・鳥」

今回は「カエデ」をご紹介します

前回の「シイノキ」と同じく、「カエデ」はこの仲間の総称で、別名は「モミジ」。江戸時代、南品川の高島寺(かいあんじ)は、モミジの名所として有名でした。品川歴史館には、高島寺のモミジ狩の浮世絵があります。(高島寺は現在、非公開です)

「カエデ」が品川区の木に選ばれた理由は、モミジの名所によるものでしょう。モミジを愛でる風習は平安の頃に始まったそうです。

「カエデ」という名前は、葉の形が「カエルの手」に似ていることから付きました。赤ちゃんの、小さくてかわいらしい手を「モミジのような手」と形容します。5から7つに分かれた葉を「いろはにほへと」と数える遊びがあり、そのため「いろはモミジ」という名が付いたといわれます。「モミジ」といったら、この種を指します。



いろはモミジ 花 (4月)



種 (5月)

モミジの花を見たことはありますか。4月半ば、花が盛りでした。葉の陰に赤く伸びた糸。その先に雄花と雌花が下がっています。秋に種が実ると、竹トンボのように飛んでいきます。種の周りには薄いつばさ状のものが付いています。ひらひら舞って、着地したところで、芽を出し、仲間を増やします。

モミジの仲間には園芸種もたくさんあります。芽吹きするとき赤い葉を出すもの、一年中赤い葉のもの、斑があるもの、葉が細く裂けているもの、とさまざまです。品種は交配ではなく、枝の変異を選んで作出したもので、種子をまいたら元の木に戻るといいます。本当かどうか、試してみる価値はありそうです。



しぎたつさわ
園芸種：鳴立沢



紅枝垂

(環境カウンセラー 倉田智子氏提供)

環境学習講座（於：品川区環境情報活動センター）

エコで不思議なこま作り

5月22日（株山武 門倉 誠氏ほか）

こまの材料は廃棄されることになる木片を使用します。木片にキリで穴を開け、軸芯を通しますが、よく回るこまを作るコツは、木片の重さの中心に穴を開けることです。誰のこまが長い間回るかを競争しました。



後半はよく回るようになったお手製のこまに模様を描いた円形の紙を乗せてみます。黒のサインペンだけで描いた絵が、



回転によって黒以外の色が見えるような気がします。柄や回転の速さによっても見え方が違い、緑っぽかったり赤っぽかったりします。半分を黒く塗って、残りの部分に模様を描くと色が見えやすいそうです。科学的に完全には説明されていないのだそうですが「ベン

ンハムのこま」という現象です。

綺麗な回転模様のこまを選び、NO.1は投票で決めました。工作を通して勉強ができ、みんなで競争を楽しむことができたことと思います。どこが「エコ」だったか、気づいてくれたかな？



おすすめBOOKS

夏休みの自由研究にチャレンジしよう



天気のおもしろい Q&A

<対象>小学生（中学年）～
天気や気象のふしぎが
かんたんにわかる本です。
雲、夕焼け、雪の結晶など
をつくる実験や降水量をは

かったり、場所による気温の違いを観察するなど、どれも試してみたい内容です。

監修：森田正光 発行所：株学習研究社
定価：本体950円(+消費税)



環境問題を考える 自由研究ガイド

<対象>小学生高学年～中学生

ペットボトルを使って燃料電池を作る、ミトマの水耕栽培、古い天ぷら油で環境にやさしい石けん作りなど、環境問題をテーマにした自由研究です。

編者：エコ実験研究会

発行所：東京書籍(株)

定価：本体1,300円(+消費税)



‘すまいるスクール’で環境学習

環境省は、子どもの放課後の環境教育プロジェクトとして環境教育プログラムを作成し、子どもたちが環境のこと、資源のことを遊びながら学ぶことができる教育キットを作成しています。

このプログラムには、環境にやさしい買い物ゲーム「エコチョイス」、生物多様性を考えさせる「カードゲームbi di」、ジグソーパズルで環境にやさしい社会



を考える「E☆カプセル」など6種類のプログラムが用意され、環境カウンセラーが講師となって指導に当たっています。

品川区では昨年度は18校の区立小学校の‘すまいるスクール’で講座を行い、子どもたち

の環境教育に役立ちました。写真は子供たちが協力合って「E☆カプセル」を一生懸命組み立てているところです。

「現在小学1年生～4年生に対して環境教育を行っています、

この教育により子どもたちに環境マインドが身につけていくものと確信します。今後も‘すまいるスクール’の指導員の方と協力しあって、環境学習の機会を増やすとともに質を高めていきたいと思っています」と講師の酒井康一さん（環境カウンセラー／NPO法人エコタウンしながわ副理事長）はおっしゃっていました。

‘すまいるスクール’とは、品川区立小学校の施設を活用した全児童放課後等対策事業です。



太陽光・風力発電照明灯

東品川海上公園にある太陽光・風力発電照明灯で、この照明灯は風力と太陽光によるエネルギーを電気に変えて点灯します。風力をサボニウス形風車（垂直型風車：円筒を縦に2つに切ってつないだ形）でとらえて発電し、太陽光は太陽電池パネルで受けて発電し、バッテリーに一旦蓄えます。夜間暗くなるとLEDが点灯します。電力会社の電力が停電してもこの照明灯は大丈夫です。



環境記者活躍中

環境記者の小野さんは会社の有志でボランティアチームを結成し、公園の清掃美化活動に参加しています。現在は聖蹟公園内の花壇において、年4回季節に応じて花の植替えをし、また適宜水撒きをしながら花壇を管理しています。

「この日は春の日差しが暖かく、お花も心地よさそうに見えました。少しは景観に貢献しているとうれしいんだけど」と記事に書いてくださいました。



環境用語 ゼロ・エミッション

ゼロ・エミッションとは、産業活動等により排出される廃棄物や副産物を他の資源として活用し、その結果として廃棄物を生み出さないシステムを指さすという考え方です。

しながわ区民公園で行われているゼロ・エミッションの取り組みをご紹介します。公園内で出た剪定枝や枯れ木、倒木などを小型破砕機で細かく砕きます。



これらや落ち葉に発酵材を混合して袋に詰め、約6カ月かけて発酵させ、堆肥にします。

公園内の樹木の周りなどに施すと地力がつき、花壇に撒くと綺麗な花を咲かせることができます。また堆肥

は区民に無料で配布もしているとのこと。配布についての詳細はしながわ区民公園にお尋ねください。TEL 03(3762)0655

環境記者募集中

環境情報活動センターでは区民「環境記者」を募集しています。

花の開花情報、地域の環境イベント情報など、身近な環境情報をメールなどでお寄せくださる方を環境記者として登録します。いただいた記事や写真は環境情報活動センターのホームページなどに掲載します。区内在住、在勤、在学で環境に興味のある方のご応募をお待ちしています。詳細は環境情報活動センターまで（TEL 03-5742-6533）

品川区環境情報活動センター 今後のイベント予定

夏休み前・小学生向け環境講座

●うすく削った間伐材を使ってエコ工作をしよう（小学生）

森にすむ動物やその生態を知り、間伐材で鞠(まり)の形になる「球体」などを作ります。

日時／7月3日(日)14時～16時

●牛乳パックでポンポン蒸気船を作ろう（小学生）

牛乳パックを利用して水蒸気ので水面をスイスイ走る蒸気船を作ります。

日時／7月17日(日)14時～16時

8月の環境講座

●パンダと私たち～動物園での野生化を学ぶ（小学生以上・一般）

絶滅危惧種に指定され、中国の国家一級保護動物であるパンダについて、もっと知りましょう。

日時／8月25日(木)14時～16時

夏休みこども環境講座

①生きもの博士になろう

自然とのふれ合いから生きものについて楽しみながら学び、エコな作品を作ります。

日時／7月26日, 28日, 30日
(13時30分～15時30分)

②キッチンからはじめるエコロジー

身近な食を通して、楽しみながら環境について学びます。買物・調理・片付けなどすべての内容で環境に配慮した料理を作ります。

日時／8月10日, 11日, 12日
(14時～16時)

①②共通

対象／小学生

(3年生以下は保護者同伴)

講座の名称はいずれも仮称です。応募方法等については「広報しながわ」や「品川区環境情報活動センター」のホームページに後日掲載します。

しながわECOだより2011年度Vol.1

発行：品川区都市環境事業部環境課

編集：特定非営利活動法人
エコタウンしながわ

発行日：平成23年6月22日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています